

阪神・淡路大震災がきっかけで生まれた 備蓄食「パンの缶詰」誕生秘話 児童書に 『世界を救うパンの缶詰』刊行記念トークショー開催決定

絵本の出版、販売を行う株式会社ほるぷ出版（本社：千代田区神田神保町、代表取締役社長 吉川廣通）は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の被災者の声から生まれた備蓄食、「パンの缶詰」の開発秘話を紹介した子ども向け書籍『世界を救うパンの缶詰』を2017年10月27日に刊行しました。

■「パンの缶詰」開発秘話、児童書で紹介

児童書『世界を救うパンの缶詰』は、栃木県那須塩原にあるパン・アキモトが製造・販売を行う「パンの缶詰」誕生秘話を紹介した小学校高学年向けの読み物です。

この缶詰は、1995年1月17日、阪神・淡路大震災の被災者の「長期保存ができて、やわらかいパンが欲しい」という声から生まれました。社長の秋元さんは、〈パン屋としてのミッション〉として、これまでなかったおいしくて、やわらかくて、長期保存できるパンの開発をスタートさせます。

製品化するまでに、百回以上の実験をくり返し、一年後ようやくパンの缶詰は完成します。パン・アキモトのあきらめない心が生み出した奇跡の物語を、子ども向けにわかりやすいイラストを交えて紹介しています。



書籍『世界を救うパンの缶詰』（ほるぷ出版刊）

【イベントのご案内】

『世界を救うパンの缶詰』刊行記念

パン・アキモト社長 秋元義彦 トークショー & サイン会

日時：2018年1月12日（金）19時から 1 開場 18時半

登壇者：パン・アキモト 代表取締役社長 秋元義彦氏

場所：代官山蔦屋書店

パン缶誕生秘話や、世界に22万缶とどけられた救缶鳥プロジェクトなど、社会貢献しながらビジネスを続け、日本だけではなく世界で活躍する秋元さんのお話や、今子どもに伝えたいメッセージをうかがいます。

★メディア関係者様のお席をご用意しております。

お申込お問い合わせは、下記ほるぷ出版大久保までご連絡ください。



試行錯誤の末、ようやく完成した「パン缶」

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ほるぷ出版 宣伝課大久保こずえ TEL：03-6261-6691 携帯電話：070-5373-5887 E-Mail：okubo@holp-pub.co.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 FAX：03-6261-6692 HP：<http://www.holp-pub.co.jp/>

■ 世界に22万缶。届け！救缶鳥プロジェクト

2004年新潟県中越地震の報道によりパンの缶詰が知られるようになったことで、東京、千葉、埼玉など多くの自治体や企業が備蓄食として購入しましたが、今度は別の問題がおこります。ある市役所から、賞味期限が近い缶詰を買い替えるので、五千缶を引き取ってほしいという依頼を受けたのです。秋元さんは、職員や市民に配布する事を提案しますが、税金で購入した物を勝手に食べる事は出来ないし、廃棄するだけでも処分料がかかることを知り、どうしたら無駄にせずすむのかと考えはじめます。

その結果、賞味期限が切れる一年前に缶詰を回収し、海外の食料不足で困っている人に届けることを思いつきます。これは「救缶鳥プロジェクト」と名付けられ、商品購入のリピーターを増やすことと社会貢献を同時にできる画期的なシステムとして広まっています。これまで世界に届けられた救缶鳥の数は二十二万缶。パン・アキモが販売するパンの缶詰の三十パーセントが、海外に届いています。またこの取り組みは、2017年第5回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞を受賞しました。



これまで世界に二十二万缶の救缶鳥が届けられたこの取り組みは、2017年第5回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞を受賞しました。

■ 都内の書店でフェア開催

『世界を救うパンの缶詰』は、刊行するとすぐに話題となり、1ヶ月もたたないうちに重版が決定しました。都内の書店では、本といっしょにパンの缶詰「救缶鳥」を置いたフェアコーナーが続々と広がっています。「パン屋さんがこんな取り組みしてるんだ」「子ども向けだけど、大人が読んででもよさそう」など、今後の広がりに期待が高まっています。



文教堂大崎店の様子



TSUTAYA アトレヴィ田端店の様子



プロフィール

株式会社パン・アキモ代表取締役 秋元義彦（あきもとよしひこ）

1953年栃木県生まれ

1976年法政大学経営学部卒業。

東京・杉並区のパン店で2年間の修行の後、同社の前身である秋元ベーカリーに入社。

1996年「パンの缶詰」の発売開始

2000年から現職。東京新聞宇都宮支部所属の嘱託記者として地方の話題についても取材・執筆を行っているほか、NBC（関東ニュービジネス協議会）や、法政キーマンズ倶楽部などのメンバーとして多彩な活動も展開する。趣味は、時間が空くとふらっと出かけられる地元の温泉めぐり。

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ほるぷ出版 宣伝課大久保こずえ TEL：03-6261-6691 携帯電話：070-5373-5887 E-Mail：okubo@holp-pub.co.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 FAX：03-6261-6692 HP：http://www.holp-pub.co.jp/

最新刊



『世界を救うパンの缶詰』 菅聖子文 やましたこうへい絵

- 発売日：2017年10月27日
- 対象年齢：小学校高学年から
- 販売場所：全国の書店、WEB書店
- 定価：本体価格1,400円＋税

阪神大震災の被災者の声から生まれた「パンの缶詰」。これを作ったパン屋の秋元さんは、賞味期限が切れる前にこの缶詰を回収し、海外の飢餓地域へ届ける仕組みも作り上げます。あきらめない心が生み出した、奇跡の缶詰の物語。

著者紹介

菅 聖子（すが せいこ）

1965年生まれ。自由学園卒業。出版社勤務を経てフリー編集者、ライターとして活躍中。

著作に『シゲコ！ー広島から海をわたって』（偕成社）「むのたけじ 100歳のジャーナリストからきみへ」シリーズ（汐文社）、『一澤信三郎帆布物語』（朝日新書）などがある。

やましたこうへい

1971年生まれ。大阪芸術大学美術学科卒業。グラフィックデザイナー、絵本作家。

絵本に『さがそう！マイゴノビートル』（偕成社）、共作に「ばななせんせい」シリーズ（得田之久／ぶん、童心社）、「フェアブル先生の昆虫教室」シリーズ（奥本大三郎／文、ポプラ社）などがある。

■会社概要

社名：株式会社ほるぷ出版

本社所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6

代表：代表取締役社長 吉川廣通

設立：平成22年4月1日（創業昭和39年）

ホームページ：<http://www.holp-pub.co.jp/>

事業内容：絵本、児童実用、学校図書館用図書の出版、販売

『ちびゴリラのちびちび』『ぼくにげちゃうよ』などの40年愛されるロングセラー絵本の翻訳出版を行う老舗児童書出版社です。最近では、児童向け読み物『ワンダー』（2015年7月刊行）が累計20万部を突破。テレビ、新聞、雑誌、ラジオにも多数取り上げられています。



〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ほるぷ出版 宣伝課大久保こずえ TEL：03-6261-6691 携帯電話：070-5373-5887 E-Mail：okubo@holp-pub.co.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 FAX：03-6261-6692 HP：<http://www.holp-pub.co.jp/>